

第130回エイズ動向委員会

委員長コメント

《平成24年第2四半期》

【概要】

1. 今回の報告期間は平成24年3月26日～平成24年6月24日までの約3か月
2. 新規HIV感染者報告数は225件（前回報告246件、前年同時期217件）
そのうち男性215件、女性10件で、男性は前回（231件）より減少、前年同時期（209件）より増加、女性も前回（15件）より減少、前年同時期（8件）より増加
3. 新規AIDS患者報告数は115件（前回報告105件、前年同時期136件）
そのうち男性105件、女性10件で、男性は前回（101件）より増加、前年同時期（127件）より減少、女性も前回（4件）及び前年同時期（9件）より増加
4. HIV感染者とAIDS患者を合わせた新規報告数は340件

【感染経路・年齢等の動向】

1. 新規HIV感染者：
 - 同性間性的接触によるものが161件（全HIV感染者報告数の約72%）
 - 異性間性的接触によるものが37件（全HIV感染者報告数の約16%）
そのうち男性28件、女性9件
 - 静注薬物によるものは3件
 - 年齢別では、30代が多い
2. 新規AIDS患者：
 - 同性間性的接触によるものが63件（全AIDS患者報告数の約55%）
 - 異性間性的接触によるものが28件（全AIDS患者報告数の約24%）
そのうち男性21件、女性7件
 - 静注薬物によるものは0件
 - 年齢別では、40代以上に多い

【検査・相談件数の概況（平成24年4月～6月）】

1. 保健所におけるHIV抗体検査件数（速報値）は25,930件（前回報告24,824件、前年同時期24,955件）、自治体が実施する保健所以外の検査件数（速報値）は7,336件（前回報告7,171件、前年同時期6,767件）
2. 保健所等における相談件数（速報値）は39,418件（前回報告39,716件、前年同時期38,844件）

HIV抗体検査件数及び相談件数はともに横ばいである。

【献血の概況（平成24年1月～6月）】

1. 献血件数（速報値）は、2,628,553件（前年速報値2,647,381件）
2. そのうちHIV抗体・核酸増幅検査陽性件数（速報値）は34件（前年速報値50件）
10万件当たりの陽性件数（速報値）は、1.293件（前年速報値1.889件）

《まとめ》

1. HIV感染者数は前回よりやや減少したが、AIDS患者数はやや増加した。
2. HIV抗体検査件数及び相談件数は横ばいの傾向にある。
3. 早期発見は個人においては早期治療、社会においては感染の拡大防止に結びつくので、HIV抗体検査・相談の機会を積極的に利用していただきたい。